

羽田周辺水域環境調査研究 第6回シンポジウム

# 羽田空港周辺と東京湾の水環境

～ 新滑走路供用開始から2年 ～

■主 催:羽田周辺水域環境調査研究委員会

■共 催:一般財団法人みなと総合研究財団



多摩川河口域は、多摩川からの河川水と東京湾の海水が接する汽水域と呼ばれる複雑な海域であるとともに河川出水の影響を直接受ける非定常性が大きな場所です。一方、発着容量の制約の解消、多様な路線網の形成、多頻度化による利便性の向上、国際競争力強化などを目的とした羽田空港再拡張事業により、4本目の新滑走路が多摩川河口域に建設され、供用開始をしてから約2年が経過しました。

このような大規模構造物が建設された事に伴い、羽田周辺水域や東京湾全体に及ぼす環境影響をしっかりと把握するため、平成18年に『羽田周辺水域環境調査研究委員会』を発足させ、新滑走路の建設前から、多様な分野の研究者、行政、NPO、市民とが協働で、様々な観点から環境調査を実施し、今日に至っています。

本シンポジウムでは、これまでの調査研究における取り纏めをご報告し、調査研究成果及びポスターセッションをオープンに議論することにより、関係者間での情報共有を徹底し、環境影響評価を確実に実施して参ります。

## 開催日時

## 開催場所

参加費**無料**

(先着100名)

平成24年  
12月2日(日)  
10:00 開会  
(9:30受付開始)

東京海洋大学  
品川キャンパス  
楽水会館1F大会議室  
(〒108-8477 東京都港区港南4-5-7)

事前に申込みが必要ですので、裏面の参加申込書に必要事項をご記入のうえ、FAXまたはE-mailでお申込み下さい。

土木学会CPDプログラム認定  
認定番号JSCE 12-0779



お問い合わせ 〒105-0001 東京都港区虎ノ門三丁目1-10 第2虎ノ門電気ビルディング4F  
一般財団法人みなと総合研究財団 調査研究部

TEL:03-5408-8298 FAX:03-5408-8747 E-mail:haneda@wave.or.jp (担当:田中、中島、森谷)

# プログラム

**開 会** 10:00~10:25

主催者挨拶 風呂田 利夫（東邦大学理学部・大学院教授）

## 講 演

— 午前の部 — 10:25~11:55

①新滑走路供用開始から2年 ~堆積物の変化~  
碓井敏宏（東京大学大気海洋研究所特任研究員）

②多摩川河口域の二枚貝の生息環境  
~安定同位体比に現れた変化~  
児玉真史（(独)水産総合研究センター中央水産研究所）

③羽田沖底泥の動きとそのモデル化  
中川康之（(独)港湾空港技術研究所沿岸土砂管理研究チームリーダー）

— 午後の部 — 14:00~15:40

①プランクトン群集の変動と環境変化  
石丸 隆（東京海洋大学海洋科学部海洋環境学科教授）

②新滑走路橋脚部に付着した生物による環境影響は？  
山中亮一（徳島大学大学院ソシオテクノサイエンス研究部講師）

③質疑応答  
コーディネーター  
灘岡和夫（東京工業大学大学院情報理工学研究科教授）

**ポスターセッション** 11:55~13:50

「市民や学生による水環境調査研究報告」

## 会場までのアクセス

・ JR線・京浜急行線 品川駅港南口（東口）から徒歩約10分

・ 東京モノレール天王洲アイル駅から「ふれあい橋」を渡り正門まで 約15分

・ りんかい線 天王洲アイル駅から「ふれあい橋」を渡り正門まで約20分

## シンポジウム参加申込書

【お申込み・お問合せ先】

● FAXでのお申込み: 下記参加申込書に必要事項を記入の上、そのまま送信してください。

FAX番号：03-5408-8747

● E-mailでのお申込み: 下記申込書の項目を記入の上、お送りください。

本票に記入し添付して頂いても結構です。 メールアドレス：haneda@wave.or.jp

※ **11月28日**までにお申込み下さい。また、定員になり次第締め切らせていただきます。

平成 年 月 日



※ 正門からお入りください

ふりがな 代表者氏名	.....	参加人数 (代表者含む)	名	電話	
所属団体・部署				FAX	
住 所	〒			E-mail	
ふりがな 参加者氏名(代表者除く)		住 所			所属団体・部署

※ここに記載しました情報は今回のシンポジウム以外の目的で使用することはありません。  
また、個人情報に関わる事項を第三者等に提供することはありません。